

学校図書館支援センター通信 NO.134 6月号

令和元年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

稲荷木小学校 6年生 国語科の実践

～国語科の「読む力」「書く力」「話す・聞く力」の基本的な力を育むために～



稲荷木小学校の6年1組で行われている国語科の授業を紹介します。授業者の森優之介先生は、国語科の基本となる「読む力」「書く力」「話す・聞く力」を育むために、5年生の後半から、継続的にビブリオバトル（※）を取り入れています。今回は、「戦争について」をテーマに5回目のビブリオバトルを行いました。6年生の国語の教科書には、「川とノリオ」という教材文が掲載されています。今回のビブリオバトルは、「川とノリオ」の学習に入る前に、作品の時代背景である「戦争について」一人一人に考えてもらうことをねらいとして行いました。

そのために、学校司書の協力を得て、戦争に関する幅広い図書資料を、ネットワーク便を利用して集めました。集めた図書資料の中から、2冊程度の図書を読み、紹介する1冊を決めました。

ビブリオバトルを開催する1か月前から、学級だより等を通して、家庭にも呼びかけ、家庭の協力を得ながら、家庭学習を利用して、読書の時間を確保しているそうです。

紹介する本が決まると、原稿メモに自分の考えをまとめます。3分間という限られた時間の中で、友達に向けて自分の思いを伝えるためにはどうしたらよいか、一人一人が考えながらまとめ、発表をしています。今回は、読書を通して、一人一人が戦争に対する感想を持つことができ、さらに友達の紹介を聞くことで、戦争へのイメージを膨らませることができました。

テーマ 戦争について

戦争に関する読み物や歴史資料、写真で見る本など、類を問わず幅広い図書を集めました。



ネットワーク便で集めた図書120冊

【決勝戦で児童が紹介した図書】

「象のいなくなった動物園」
「第2次世界大戦と現代の日本」
「絵で読む 広島原爆」
「原爆予告をきいた」
「妖怪になりたい」
「ガラスのうさぎ」

「絵で読む 広島原爆」を読んだ児童の紹介内容

絵だけでも悲しみや苦しみがよくわかる本です。原爆のことをよく知らなかったのが、初めは「うそでしょう」と思いました。原爆は、皮膚がただれるほどのやけどを覆うものであり、生きて地獄、生きる楽しさを奪うものです。

※今回行われたビブリオバトルの方法

- ①3分間の発表（本の紹介）と1分間の質問を行う。
- ②一人1分ずつ投票メモを参考にしながらフィードバックを行う。
- ③5分間で投票用紙を書く。
- ④投票を行い、チャンプ本（1番読んでみたい本）を決定する。

図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

大野小学校の委員会活動での今年度のテーマは「委員会活動で大野小学校を楽しくしよう！充実させよう！盛り上げよう！」です。図書委員会でも今年度の活動について話し合いを行いました。図書委員会の子ども達19名は、やる気いっぱいたくさんのおもしろいアイデアが出ました。さっそく5月はおすすめの本の紹介や「雨の日キャンペーン」（雨の日は通常の貸出2冊を借りていても、休み時間にもう1冊借りる事ができる）のお知らせづくり、毎月行うお話会の準備に大忙しです。

私も図書室を身近に感じてもらい、たくさんのお本を読んでもらう為に子ども達を支援していきます。図書委員会の子も達と楽しい一年間になりそうで、とてもワクワクしています。

【市川市立大野小学校 学校司書 西岡 清美】



中央図書館司書による読み聞かせ講座 第二中学校



6月14日（金）に第二中学校にて、中央図書館の司書、前越さんと臼田さんを講師にお招きし、図書委員会の生徒を対象にした読み聞かせ講座が行われました。

毎年、第二中学校の図書委員会では、まきば保育園、菅野小学校と真間小学校の低学年を対象に読み聞かせを行っています。今年は、読み聞かせに出かける前に、臨時図書委員会を開催し、読み聞かせ講座を催しました。

はじめに、講師の先生から、「読み聞かせに向く絵本の選び方」「読み聞かせの方法（導入、持ち方、めくり方、読み方）」について、具体的に教えていただきました。生徒たちは、緊張感を持ちながら、真剣に耳を傾けていました。教えていただいたことを意識しながら、グループに分かれて読み聞かせの練習を行った後、代表の一人が「たからさがし」の絵本を読み、講評をいただきました。最後に生徒からのお礼のあいさつでは、「読み聞かせの本を選ぶ時に、絵本の大きさだけでなく、絵の大きさに注目して選んでいきたいと思いました。」と感想を述べていました。選書をする時の新しい視点に気がつくことができ、今まで以上に、本選びの段階から相手を意識して取り組むことができるのではないのでしょうか。

司書の方のお話によると、見開き2ページに1場面が描かれている絵本は、読み聞かせに向いているそうです。



6月15日の県民の日に合わせて、千葉県民の郷土に関わる図書資料を集めて、別置コーナーを設けていました。市川市に関わるお話も手にとりやすいようにしています。

学校図書館の様子



用務員さん手作りの雑誌を保管できる収納庫です。ベンチとしても使えます。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

